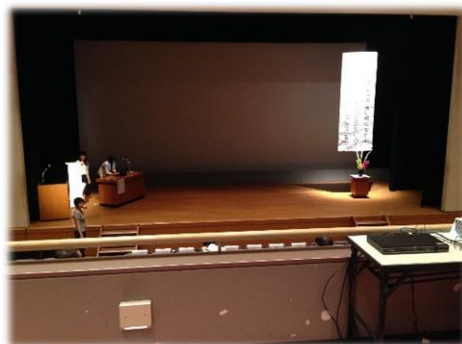


こんにちは。ゆい 生活介護事業所の保坂といいます。

7月28日、29日と大阪府高槻市にて第一回北摂杉の子会研修セミナーに参加させていただきました。30日には、セミナーを主催された社会福祉法人北摂杉の子会の施設見学もさせていただきました。大変有意義な3日間となりました。セミナーや見学にご協力いただいた杉の子会職員様にはご多忙な中、ご丁寧な説明や移動に関しましてもご足労いただきありがとうございます。社会福祉法人北摂杉の子会は、自閉症スペクトラム障がいのある人への支援に特化した法人です。当法人と同じ理念のため、大変刺激となるセミナーでした。



研修セミナーですが高槻市立 生涯学習センターで行われました。3日間は暑くて、暑くてびっくりしましたが、扇子を仰ぎ、お茶で水分補給をして熱中症対策に必死でした。

2日間のセミナーでは、北摂杉の子会の事業所の実践報告や地域支援の現状についてなど盛りだくさんの講演でしたが、セミナーの第一講演は「自閉症スペクトラムの特性について」という講義で始まりました。セミナーに参加する方に「自閉症スペクトラムの特性」について共通理解するための講演でした。

改めて、特性理解が極めて大事で支援する上での第一歩であることを再認識できました。

全講演内容を書くとても長くなってしまいますので、印象に残った講義の感想をまとめたいと思いますが、振り返るとどれも刺激的な講演でした。

その中で、「障がい者虐待と福祉事業所におけるガバナンス」という講演がありました。

講師は社会福祉法人 北摂杉の子会 常務理事 松上利男様でした。虐待防止のためにはまず「支援の質をあげる」ことが第一。千葉県で起きた事例を通して、背景や要因を解説いただき、福祉事業所に必要なマネジメント方法についてお話をいただき大変勉強になりました。今後の業務に参考にしていき、支援の質の向上とリスクマネジメントをおこなっていきたいです。

施設見学では、施設入所支援萩の杜・高槻地域生活総合支援センター ふれいすBe・共同生活援助レジデンスなさはら・就労移行支援、自立訓練ジョブジョイントおおさかの4事業所を見学させていただきました。

個人的に施設入所支援の経験が長かったので、萩の杜の見学が一番興味ありました。萩の杜は入所定員50名で4ユニットの生活棟でした。特色として「職住分離」がされており萩の杜の向かいに生活介護が併設されておりました。



1階に2ユニット、2階に2ユニットの配置になっており、中央に利用者玄関があり玄関を挟むようにユニットが建てられていました。ユニット内も見学をさせていただき、その際にエピソードが一つ。ある1つのユニットを見学させていただいていると、ある利用者の方が午後から外出行事があるようでユニットで過ごされていました。いろいろ職員の方に説明を受けていると、用務員のように蛍光管を6本ほど外して職員の方に渡していました。なんだろうと思いましたが、見学を続けていくとディールの蛍光管が数本ないことが判明！？職員さんの説明によると、蛍光管の種類が違うものが付いていたようで、それに気付いて教えてくれたようです。その光景をみて、以前働いていた厚田はまなす園を思い出し、こういう事あったよね～と懐かしく思うことができました。

杉の子会さんでは見学者が多く、この日もさまざまな見学者が来ており多忙な中、ご丁寧に対応していただき本当にありがとうございました。今後の業務に生かしていきたいとお思います。

追伸 3日間のセミナーと見学を終え、翌日勤務をしましたが、若い職員から「お土産は買ってきました？」と開口一番で聞かれ、やはり、気持ちは視覚的に見えるものがよいな～と思いました！  
〈笑〉